

インテリア建材 クローゼット フリータイプ

施工要領書

このたびは、弊社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立ておよび取り付けには、この要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

組み立て・取り付け上の注意事項

ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

- ・クローゼットフリータイプ以外への転用および改造は行なわないでください。
- ・指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ・ねじ止め・釘打ち箇所は指定してあるねじ釘を全て確実に止めてください。
- ・組み立て、取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと開閉作動が正常に行なうことができることおよび使用上の不具合がないか確認してください。
- ・クローゼット内部に造り付けの棚等を設置される場合は、枠より内部側に20mm以上はなして設置してください。
- ・引渡前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

梱包内容

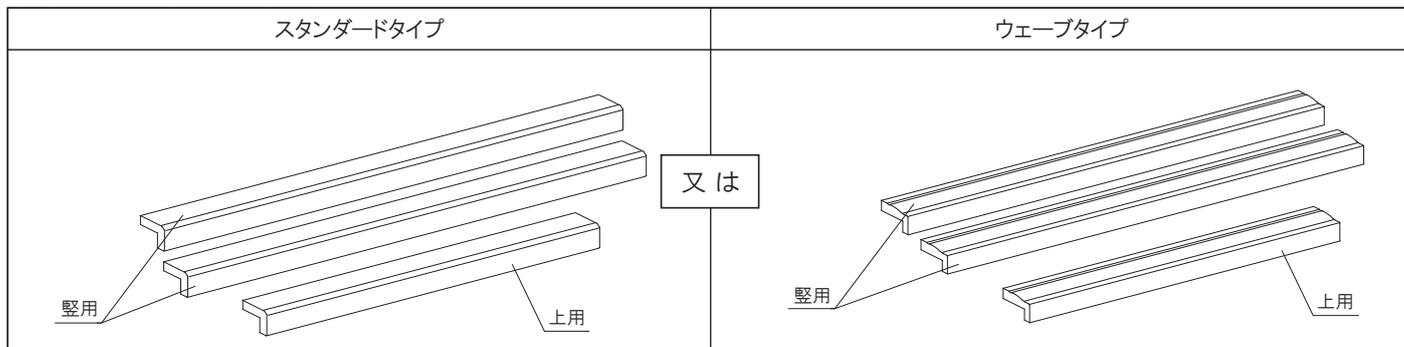
- ・開梱時に種類と数量を確認してください（部品袋の内容にもご注意ください）。
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または弊社までご連絡ください。

本 体		枠	
	タイプ	呼称	梱包形態
	1枚折れ戸	7320	1枚折れ戸梱包×1
		7323	
		8220	
		8223	
	2枚折れ戸	1120 1620	1枚折れ戸梱包×2
		1123 1623	
		1320 1820	
		1323 1823	
	3枚折れ戸	2420	1枚折れ戸梱包×3
		2423	
		2720	
		2723	
	4枚折れ戸	3220	1枚折れ戸梱包×4
		3223	
		3620	
3623			

●オプション 下枠

MDF下枠	又は	埋め込み下枠

●オプション ケーシングセット



●本体部品袋詳細

部品	引手	引手取り付け用ねじ		引手用ホールプレート
		※1	※2	
タイプ				
		小ねじトラス 4×32×8	小ねじなべ M4×6D7	
1枚折れ戸	1個	2本	2本	2個
2枚折れ戸	2個	4本	4本	4個
3枚折れ戸	3個	6本	6本	6個
4枚折れ戸	4個	8本	8本	8個

※1 木製扉の場合
※2 アルミ製扉の場合

●枠部品箱詳細

部品	吊り車	下部ガイドランナー	打ち込みパイプ	下部ストッパー	上部ストッパー
	タイプ				
1枚折れ戸	2個	2個	1個	1個	1個
2枚折れ戸	4個	4個		2個	2個
3枚折れ戸	6個	6個			
4枚折れ戸	8個	8個			

部品	枠組み立て用木ねじA	躯体取り付け木ねじA	躯体取り付け木ねじB	ホールプレート	施工要領書
	タイプ				
	専用木ねじ 3.8×51×8	木ねじ皿 3.8×51×8	木ねじ丸 3.5×38×6.5		
1枚折れ戸	4本	H20タイプ:10本 H23タイプ:12本	4本	H20タイプ:10個 H23タイプ:12個	1冊
2枚折れ戸			W11・13タイプ:5本 W16・18タイプ:6本		
3枚折れ戸			W24タイプ:8本 W27タイプ:9本		
4枚折れ戸			W32タイプ:10本 W36タイプ:11本		

●オプション MDF下枠部品袋詳細

部品	枠組み立て用 木ねじB	躯体取り付け用 木ねじC
	タイプ	 専用木ねじ 3.8×51×8
1枚折れ戸	4本	2本
2枚折れ戸		W11・13タイプ:3本 W16タイプ:4本 W18タイプ:5本
3枚折れ戸		W24タイプ:6本 W27タイプ:7本
4枚折れ戸		W32タイプ:8本 W36タイプ:9本

●オプション 埋め込み下枠部品袋詳細

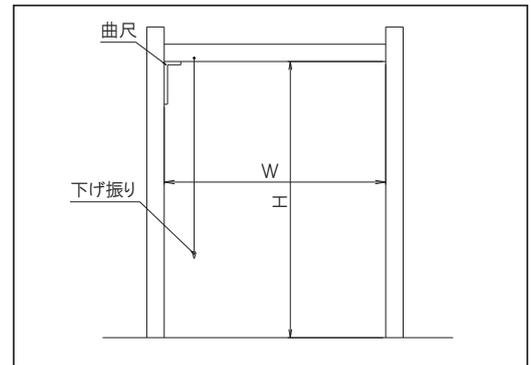
部品	躯体取り付け用 木ねじD	溝隠し
	タイプ	 木ねじ皿 3.1×32×6.2
1枚折れ戸	2本	2個
2枚折れ戸	W11・13タイプ:3本 W16タイプ:4本 W18タイプ:5本	
3枚折れ戸	W24タイプ:6本 W27タイプ:7本	
4枚折れ戸	W32タイプ:8本 W36タイプ:9本	

開口部の確認

・クローゼット枠取り付け前に、必ず柱の水平・垂直がでているか確認してください。

■開口部寸法表

開口部W	枠W+5~10mm
開口部H	枠H+3~5mm 床先張りの場合は 枠H+17~20mm



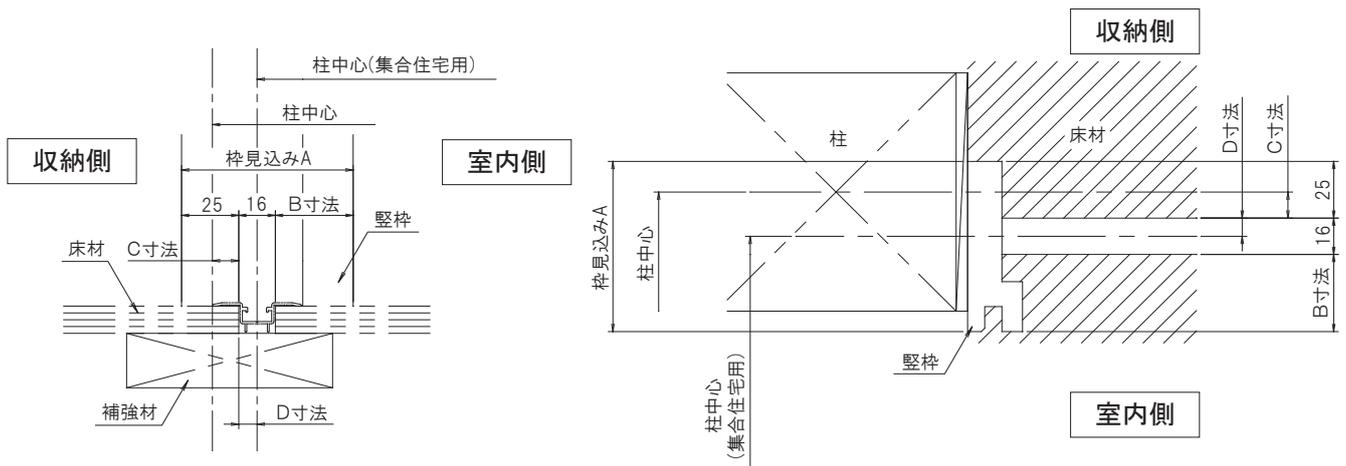
施工手順

1 床の張り方

【床先張りの場合】

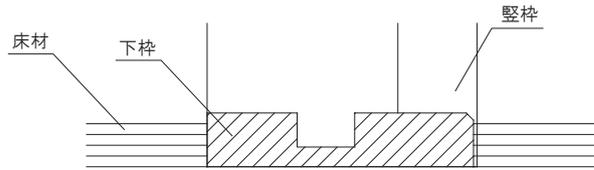
・図のように床を張ってください。
※埋め込み下枠取り付けのため、補強材を必ず取り付けてください。特に根太張り工法の場合は、必ず十分な強度を持った補強材をお使いください。

	枠見込みA	B寸法	C寸法	D寸法
ケーシング	75	34	11.5	—
ノンケーシング	89	48	12	—
ノンケーシング (集合住宅用)	89	48	—	8



【床後張りの場合】

※枠取り付け後、縦枠・下枠にそって床材を張ってください。



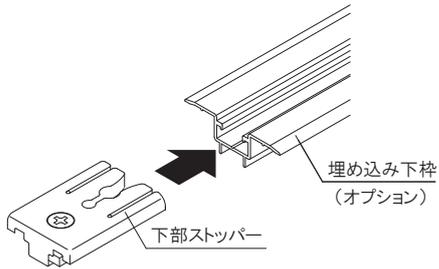
2 枠の組み立て

・クローゼット枠すべてに下穴が加工されています。

①下部ストッパーの向きを確認し、図のように入れてください。

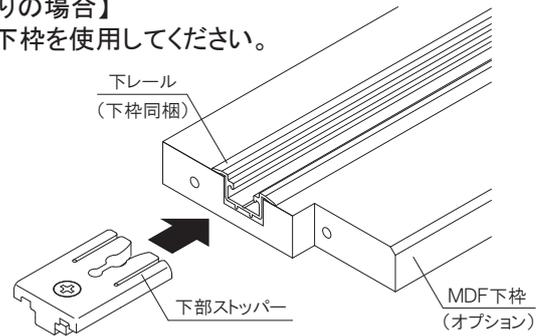
【床先張りの場合】

※埋め込み下枠を使用してください。



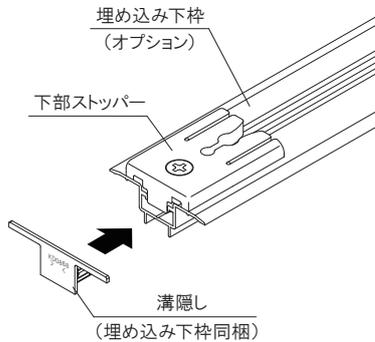
【床後張りの場合】

※MDF下枠を使用してください。

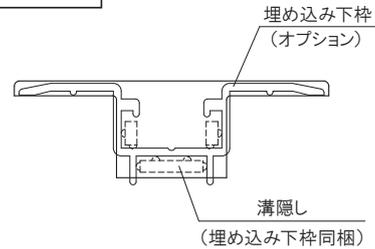


②-1【床先張りの場合】

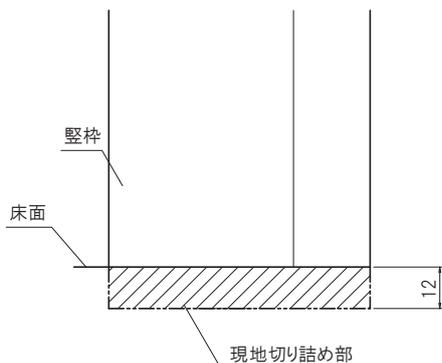
・下レール両端部に溝隠しを差し込んでください。



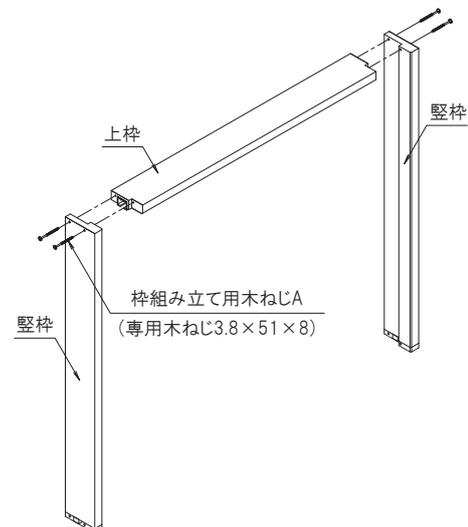
納まり図



・縦枠の下端を床材の厚さに関わらず12mmカットし、各部材を組み合わせ、枠組み立て用木ねじA(専用木ねじ3.8×51×8)にて固定して下さい。

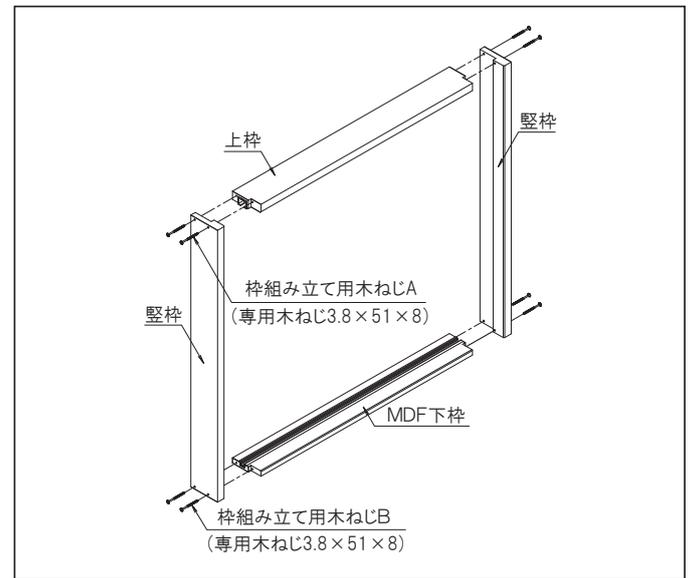


縦枠下端部



②-2【床後張りの場合】

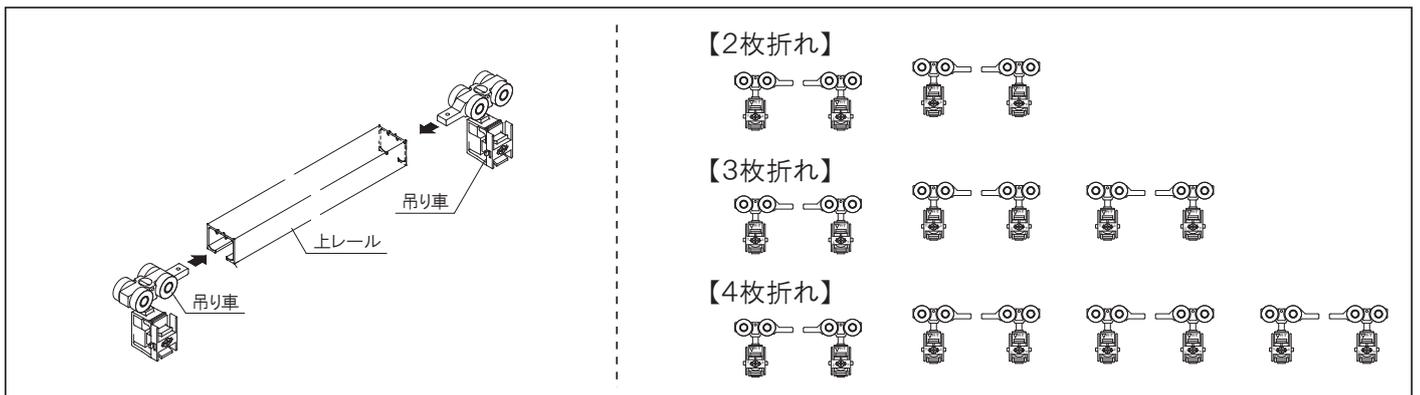
- 各部材を組み合わせ、枠組み立て用木ねじA、B（専用木ねじ3.8×51×8）にて固定します。



3 枠の取り付け

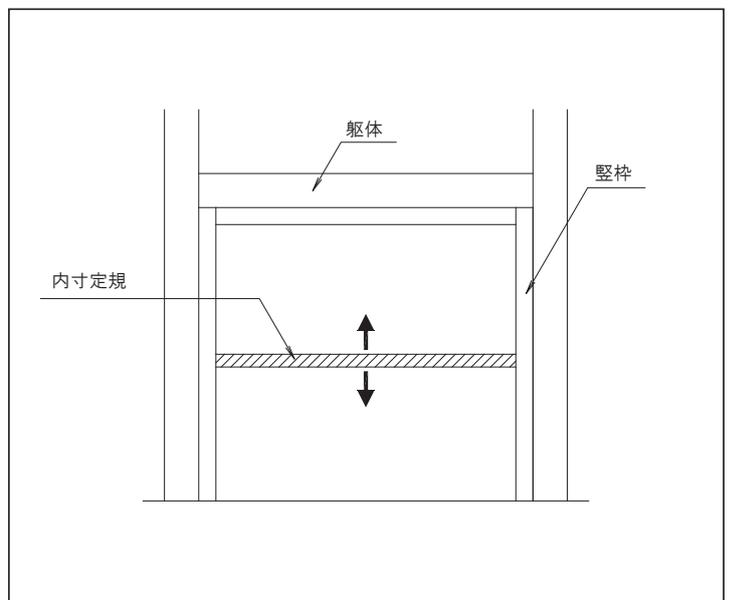
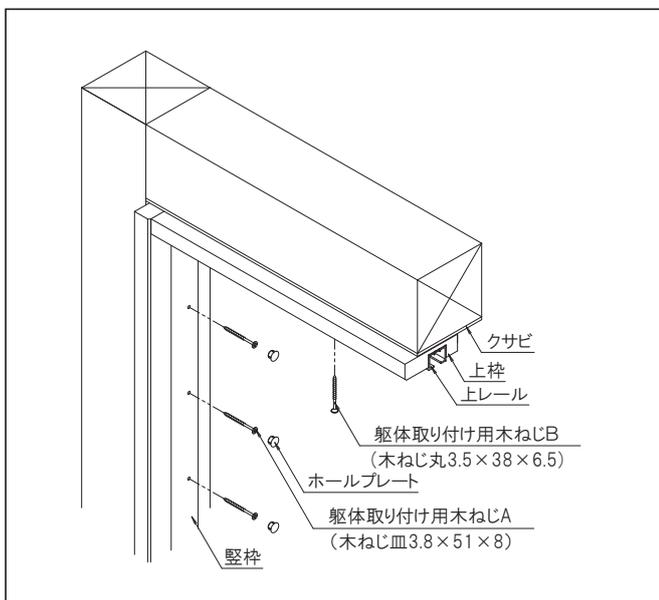
- ① 枠を壁面のラフ開口部にはめ込み、クサビなどで上下、左右、前後、倒れなどを調整し、位置を決めてください。
- ② 吊り車の向きを確認し、上レールに入れてください。

注 上レール取り付けの際、上レールをかたむけないでください。吊車が落下し、吊車が破損するおそれがあります。



- ③ 縦枠と躯体取り付け用木ねじA(木ねじ皿3.8×51×8)で躯体にしっかりと固定し、ホールプレートをはめてください。その際、同梱の内寸定規を用いて、開口寸法の確認を行った後、本固定してください。
- ④ 上レールを上枠にはめ込み、レール内部から躯体取り付け用木ねじB(木ねじ丸3.5×38×6.5)にて固定してください。

※ 躯体が軽量鉄骨の場合は、③④と同等のテクスねじ(現地手配)を使用してください。
木ねじの場合、軽量鉄骨にねじ込みはできません。



⑤-1【埋め込み下枠の場合】

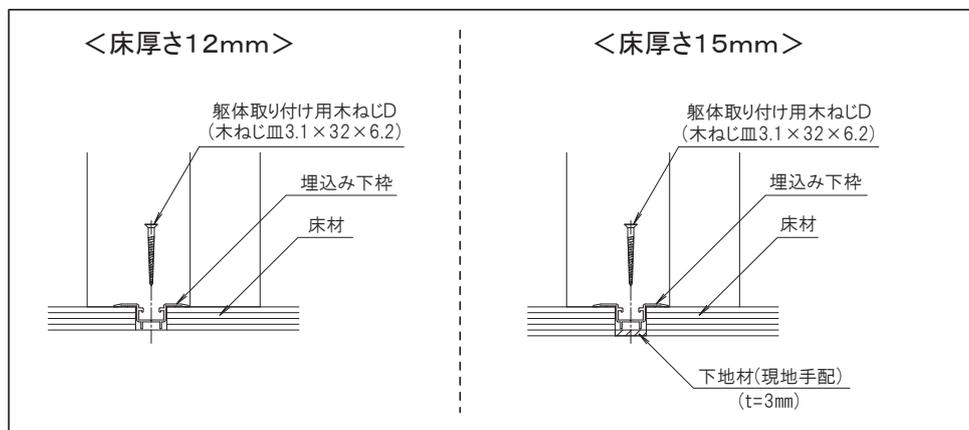
・床材の厚さを確認します。

＜床材厚さ12mmの場合＞

・躯体取り付け用木ねじD
(木ねじ皿3.1×32×6.2)にて
ねじ止めしてください。

＜床材厚さ15mmの場合＞

・埋め込み下枠の取り付け巾、
長さに合わせて厚さ3mmの
下地材(現地手配)を
先貼りし、施工してください。



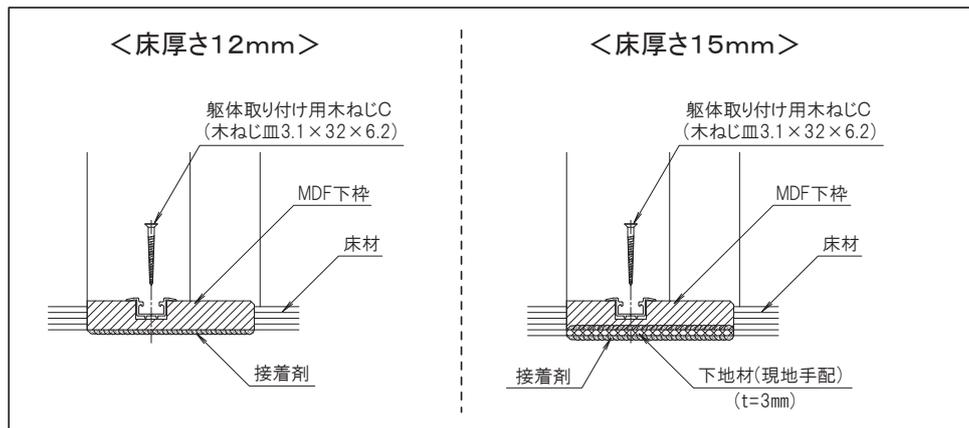
⑤-2【MDF下枠の場合】

＜床材厚さ12mmの場合＞

・必ず下枠に接着剤を塗布し、
躯体取り付け用木ねじC
(木ねじ皿3.1×32×6.2)
にてねじ止めしてください。

＜床材厚さ15mmの場合＞

・必ず下枠と下枠に合わせ厚さ
3mmの下地材(現地手配)に
接着剤を塗布し、施工して
ください。



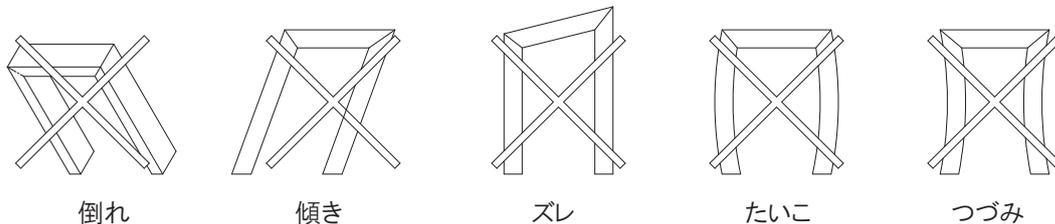
※ ①木ねじ止め時、枠に傷をつけないように止めてください。

②クサビなどは、左右4個、上下各2個くらいを平均に使用して調整を行なってください。

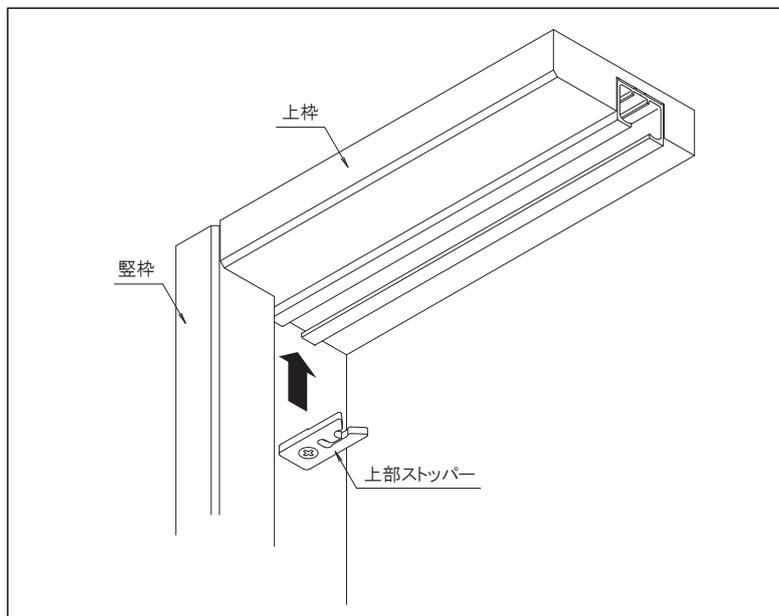
木ねじはクサビなどがある場所へねじ止めしてください。

③施工後の枠が下図のようにならないよう水平・垂直および開口部寸法の確認をしてください。

(いずれも±1.5mm以内の施工にてお願いいたします。)

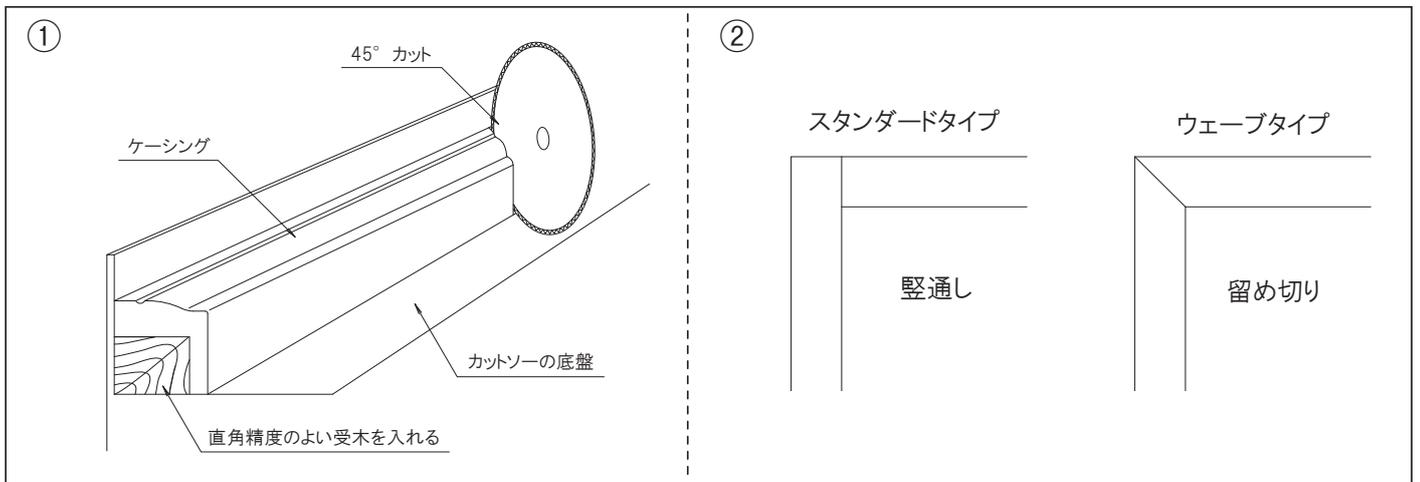


⑥上部ストッパーの向きを確認し、上レールに取り付けてください。



4 ケーシングの切断方法

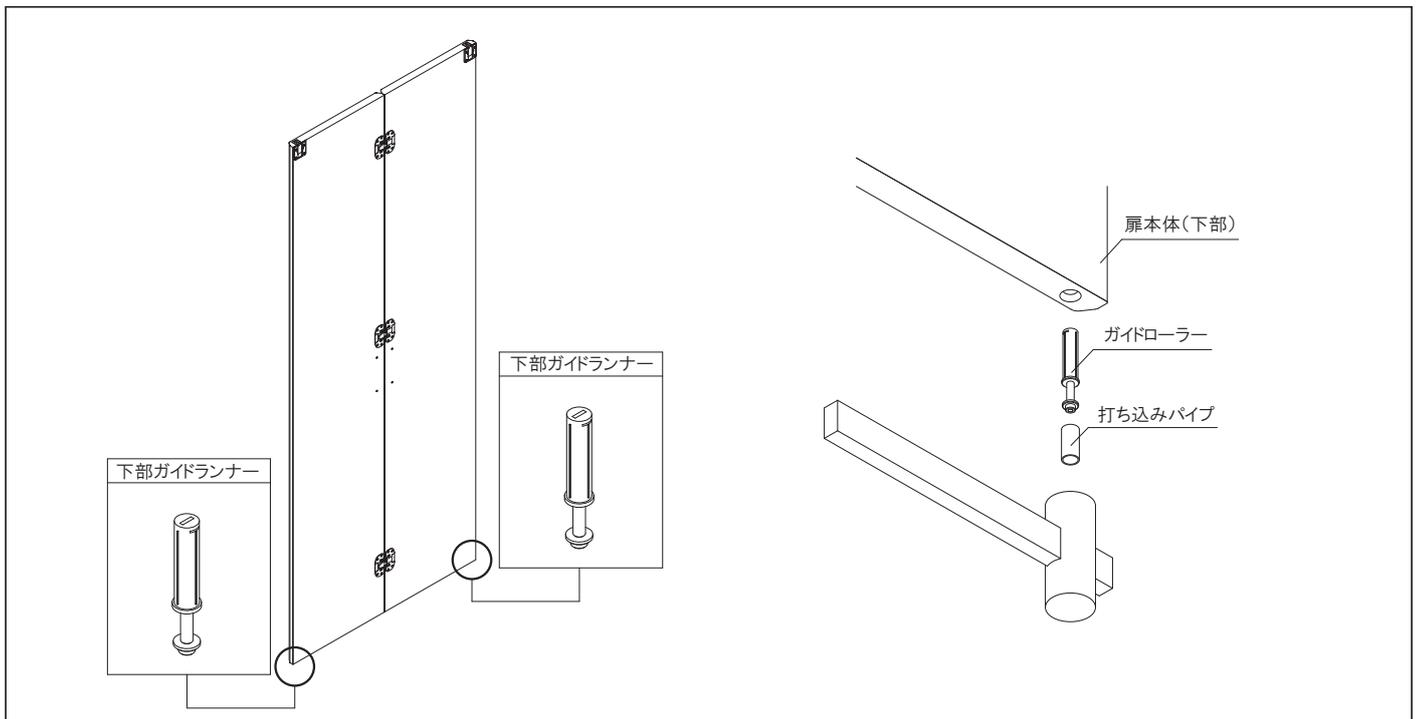
- ①ケーシング材を現場寸法に合わせてカットしてください。
- ②接合部は下図を参考にスタンダードタイプは堅通し、ウェーブタイプは留め切りにしてください。
※留め切りはケーシングの裏側に直角が出ている受け木を入れ、45° 斜めカットソーで切断すると精度がでます。
※ケーシング切断寸法はあらかじめ留め切りにしてある部分を基準にして切断してください。



5 ガイドランナーの取り付け

- ・扉本体下部に下部ガイドランナーを打ち込みパイプを使用し、木づちで打ち込んでください。

注 ガイドランナーを直接たたかないでください。破損するおそれがあります。

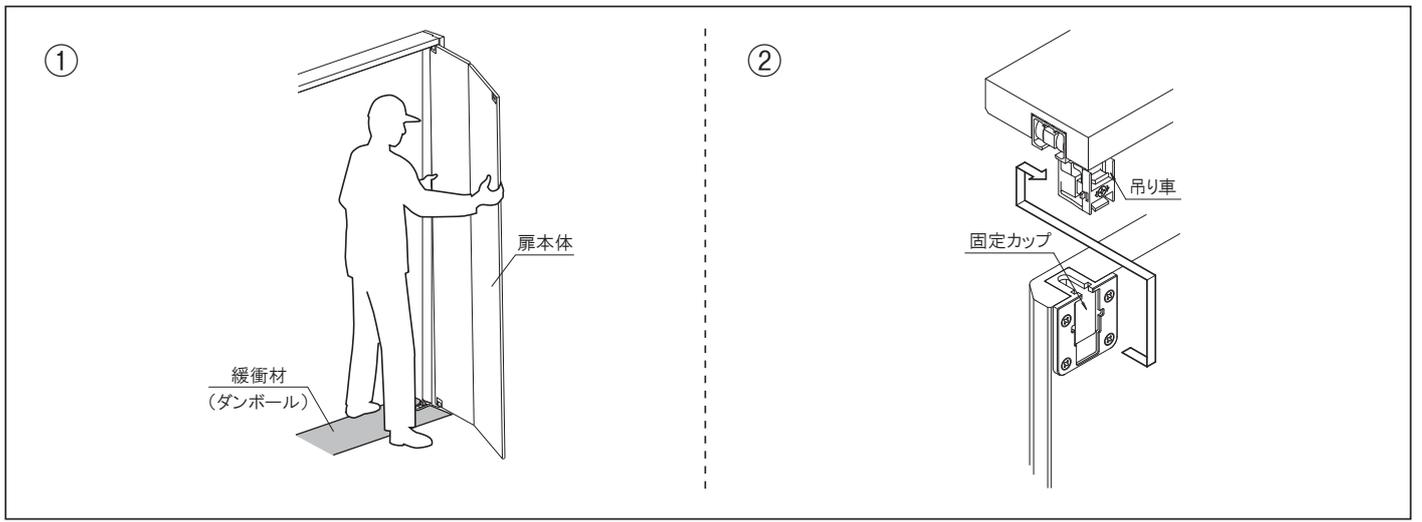


6 扉本体の取り付け

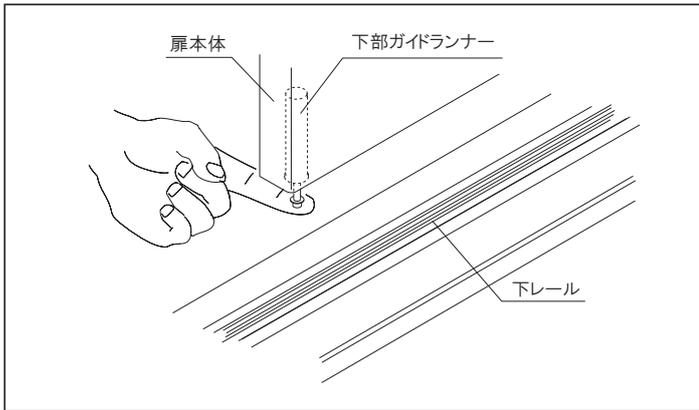
※H23扉の場合は2人で作業を行なってください。

- ①扉吊り込み時に、床面を保護するため図のように床の上に緩衝材(ダンボール)を敷いてください。
- ②戸先側上部裏面の固定カップに吊り車をパチンと音がするまではめ込んでください。

注 扉本体と吊り車を取り付ける際、扉本体が逆戻り、脱落しないよう十分に注意してください。
はめ込み後、吊り車を引張って抜けないことを確認してください。扉が落下するおそれがあります。

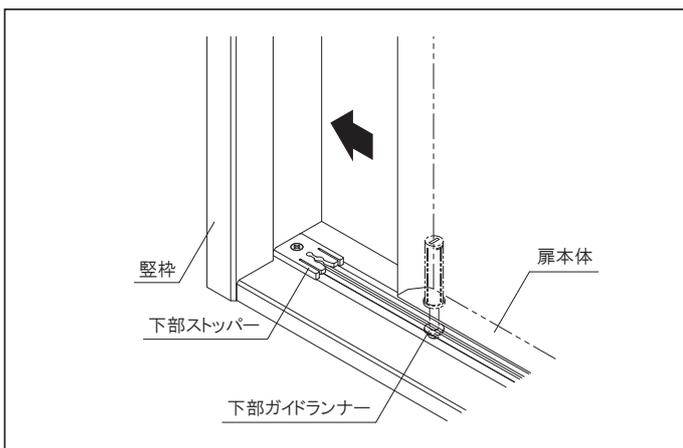
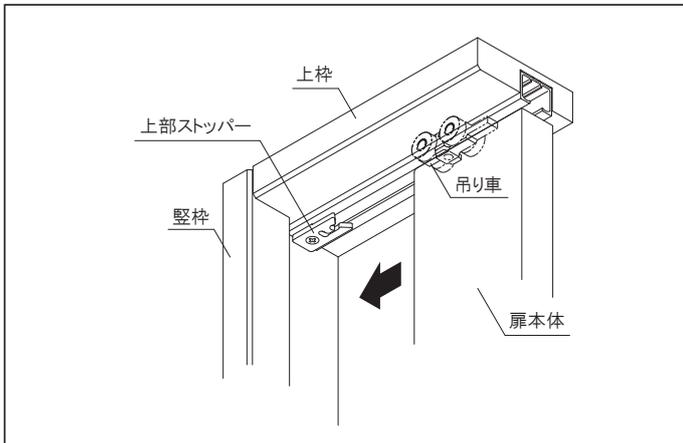


③下部ガイドランナーを下レールにセットしてください。



7 本体の固定

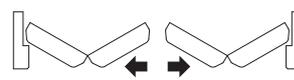
・両サイド(1折れ戸の場合は片側)の扉本体を固定してください。



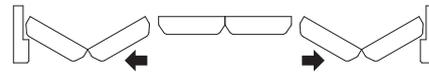
1枚折れ戸タイプ



2枚折れ戸タイプ



3枚折れ戸タイプ

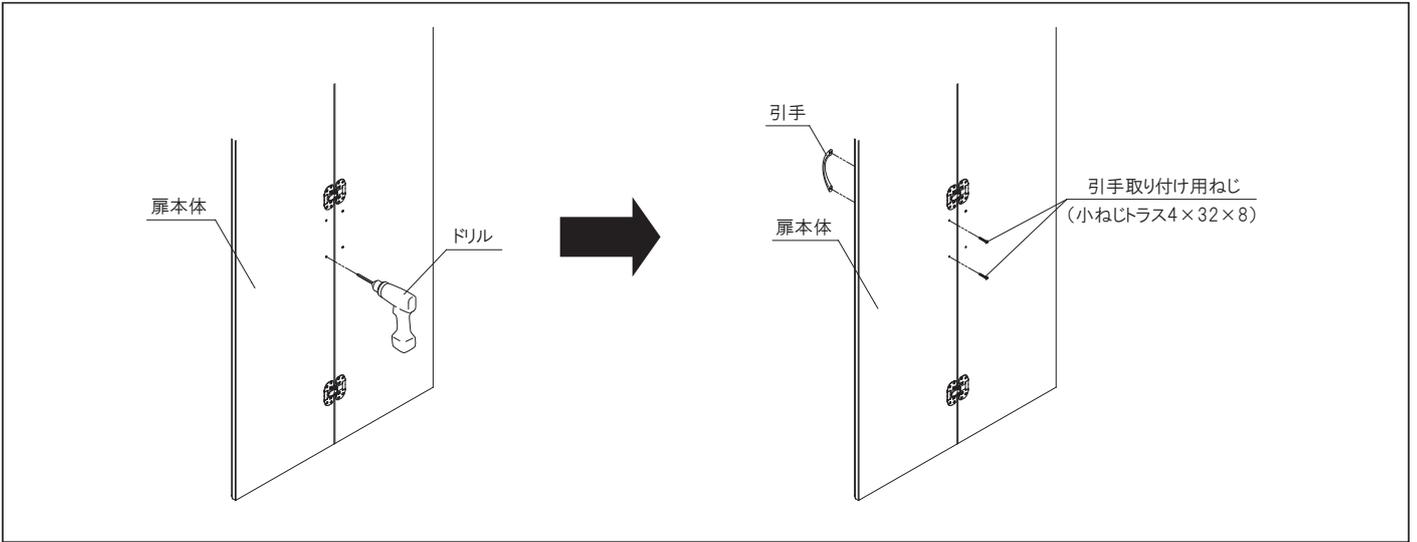


4枚折れ戸タイプ



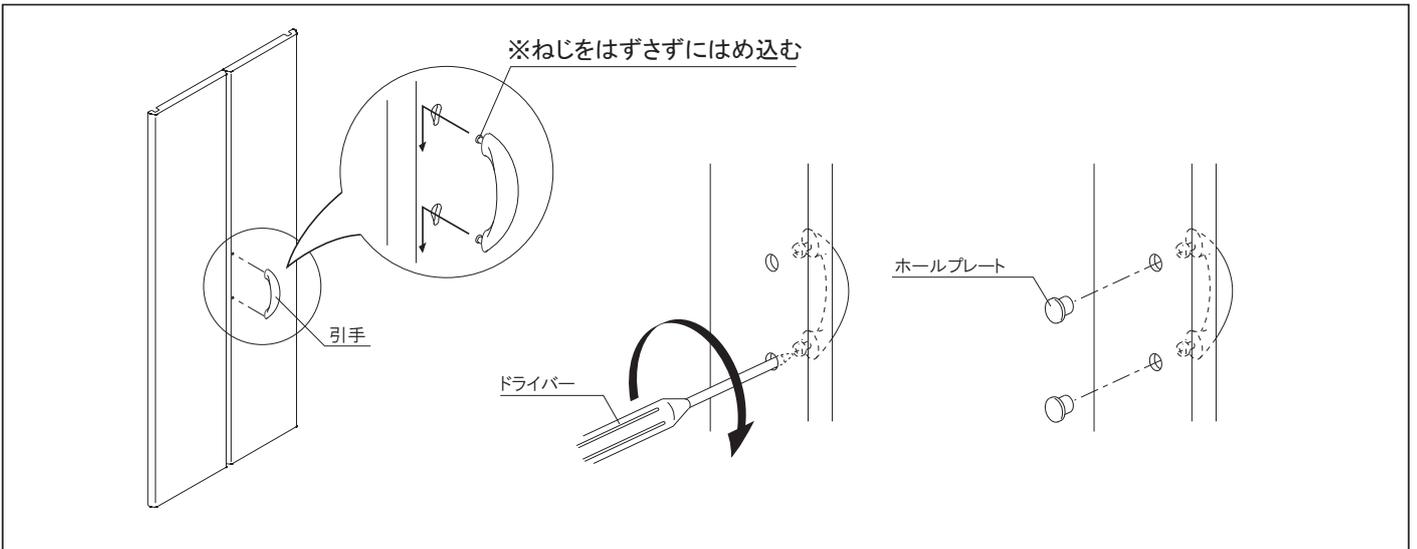
8 引手の取り付け

- ①2枚扉本体の裏面に引手取り付け用下穴が中間位置まであけてあります。引手を取り付ける側の下穴を確認した後、ドリルで貫通(φ4.5)してください。
- ②同梱の引手取り付け用ねじ(小ねじトラス4×32×8)で引手を取り付けてください。
※ドリルで穴明けの際、表面の貫通穴部に当て木をしてください。貫通時に表面材が割れるおそれがあります。



【アルミ框扉の引手取り付け方法】

- ①引手(ねじ付き)を扉表より取り付け穴にはめ込んでください。
この時、取り付けねじをはずさないでください。
- ②扉裏よりドライバーで取り付けねじをしめてください。
- ③ホールプレートをはめ込んでください。

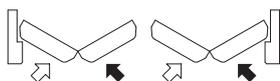


〈引手位置〉

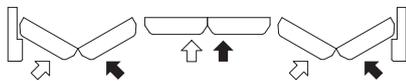
1枚折れ戸タイプ



2枚折れ戸タイプ



3枚折れ戸タイプ



4枚折れ戸タイプ



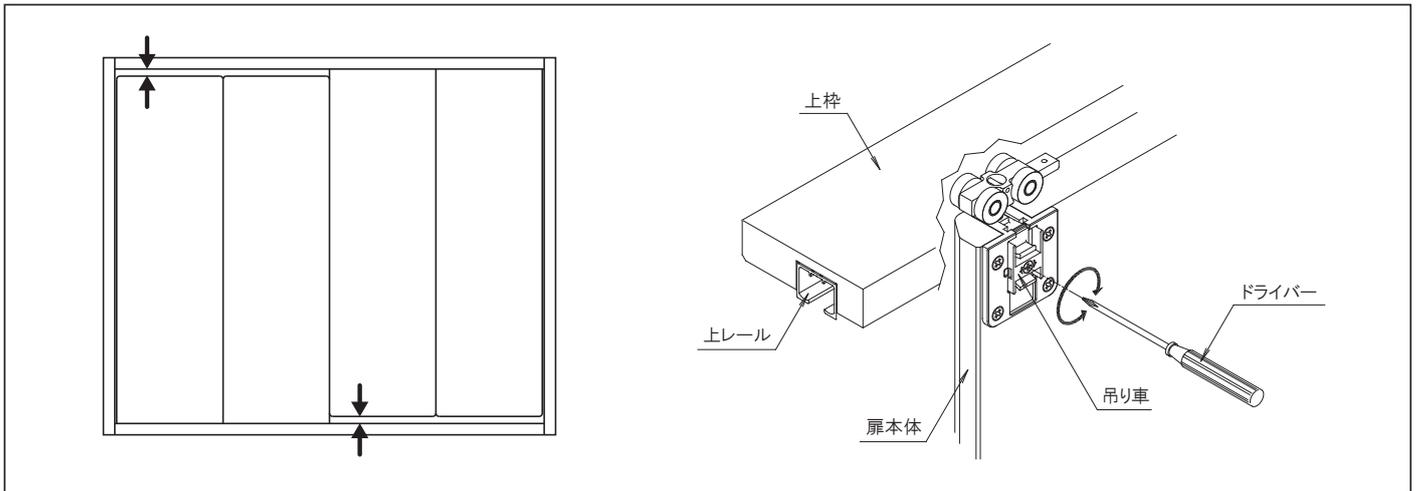
※ ㇀ もしくは、↑ の位置に引手を取り付けてください。

※ 引手は各扉本体の同一側に取り付けてください。

9 本体の建て付け調整

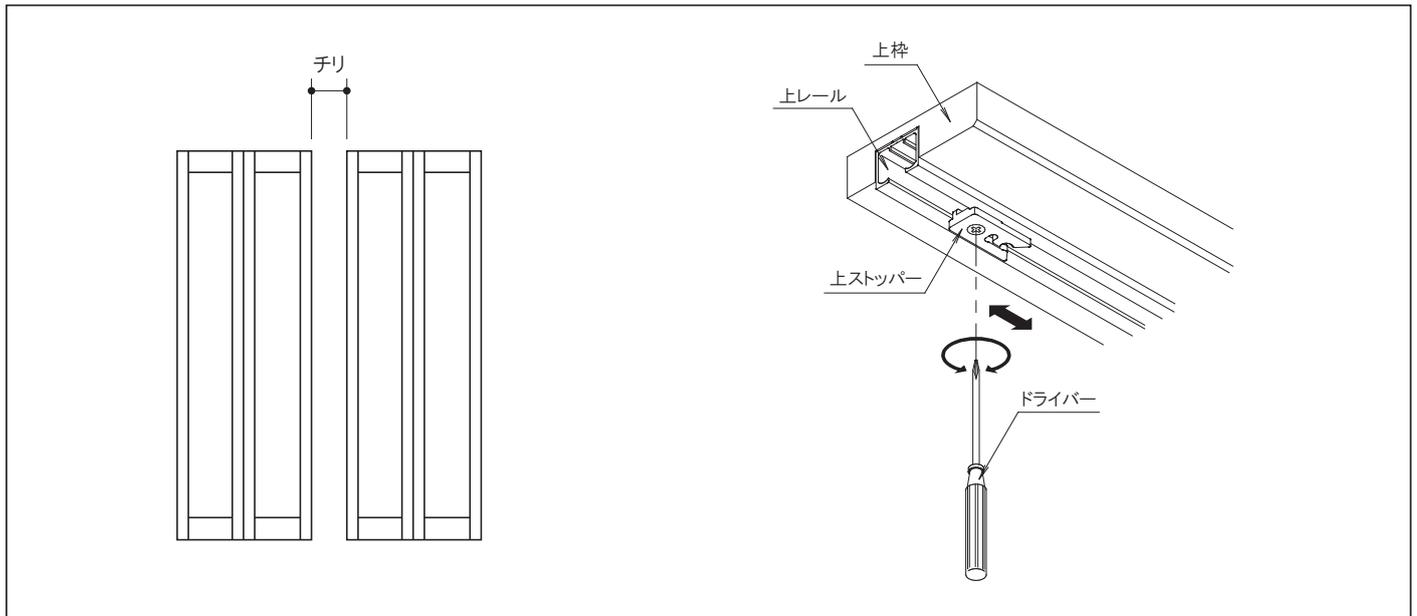
●上下のチリ調整

・扉本体取り付け後、上下のチリが合っていない場合は、吊り車の上下調整ねじを回して調整してください。



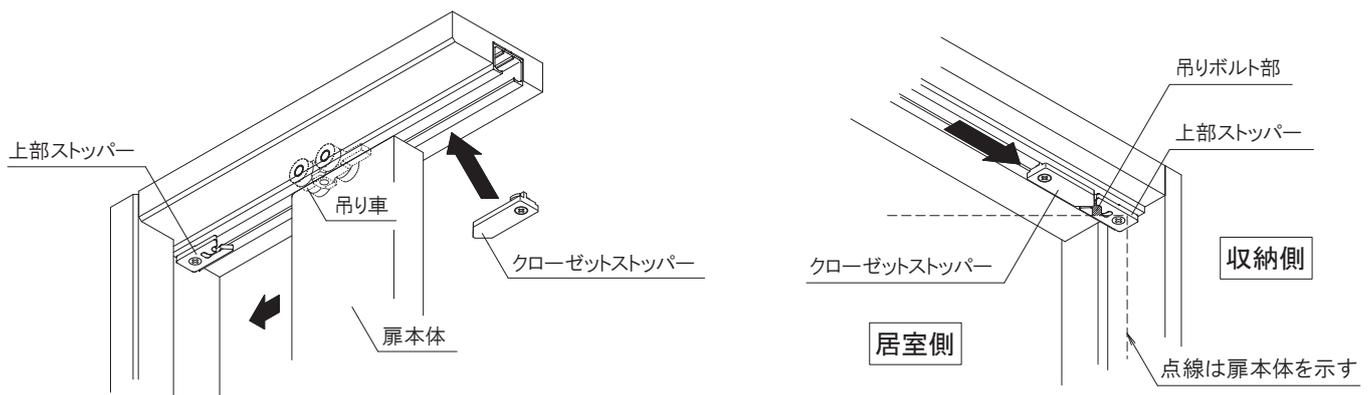
●左右のチリ調整

・上下のストッパーをゆるめて左右のチリ調整をしてください。
※チリ調整後、部品のねじはしっかりしめてください。



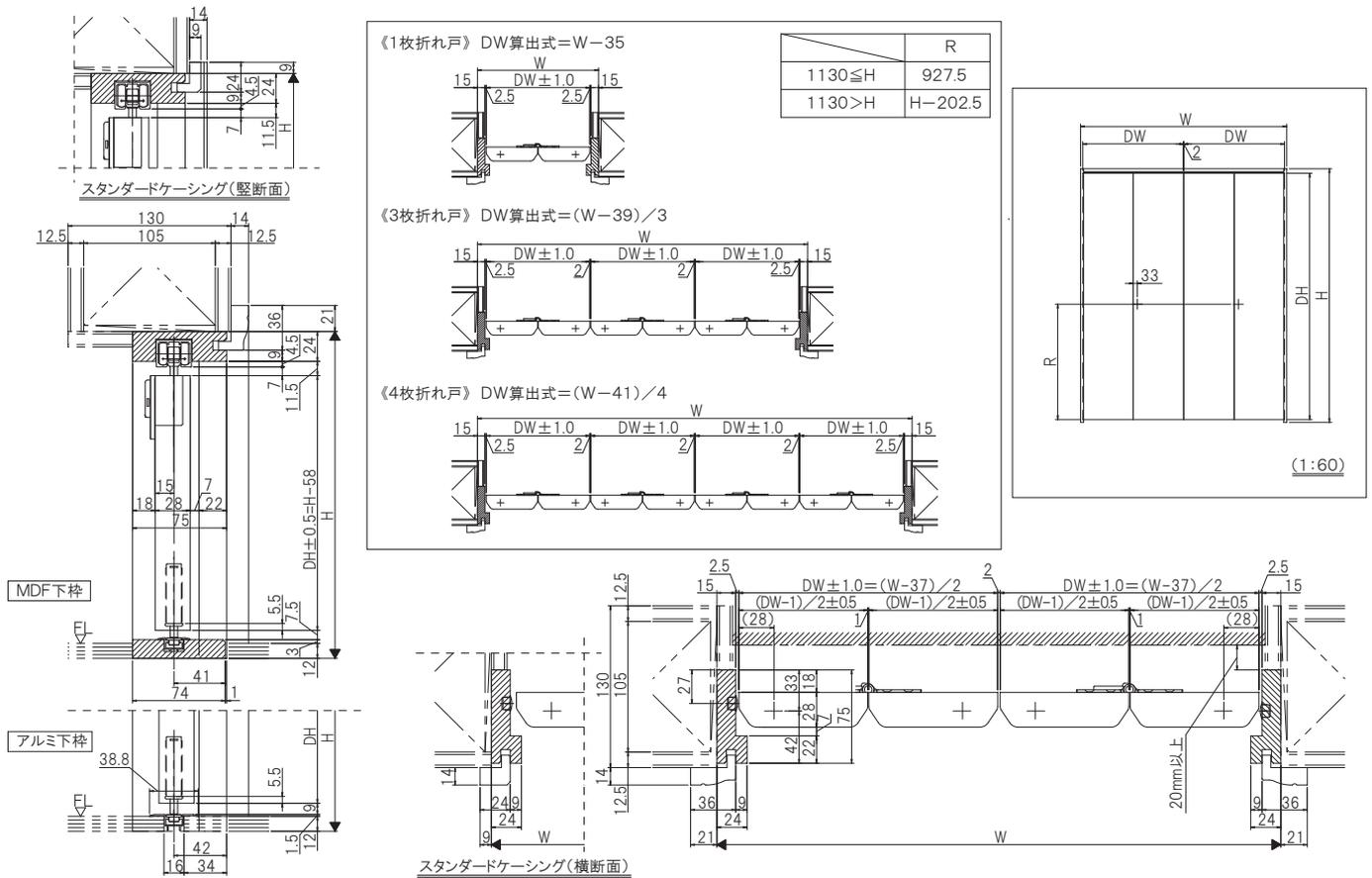
10 クローゼットストッパーの取り付け(オプション)

・扉本体の堅枠側の吊り車を上部ストッパーにはめ込み、オプションのクローゼットストッパーにて、吊り車が動かない様固定してください。



基本寸法 (mm)	W呼称	73	82	11	13	16	18	24	27	32	36
	W (DW)	735 (700)	825 (790)	1190 (576.5×2)	1325 (644×2)	1645 (804×2)	1825 (894×2)	2451 (804×3)	2721 (894×3)	3257 (804×4)	3617 (894×4)
	H呼称	20	23								
	H (DH)	2039 (1981)	2300 (2242)								

■フリータイプ ケーシング枠



■フリータイプ ノンケーシング枠

